



発行 ● 鳥取県立鳥取東高等学校同窓会 東雲会

鳥取県鳥取市立川町5-210 〒680-0061

TEL 0857-22-8495

FAX 0857-22-8497

Eメール torie-h@mailk.torikyo.ed.jp

出版 ● 株式会社 サラト

兵庫県姫路市北条宮の町172 〒670-0948

TEL 079-284-1380

FAX 079-224-7746

題字 柴山抱海氏 (特別会員)

# 2022年6月23日 鳥取県立鳥取東高等学校 創立100周年記念日

## 【鳥取東高豆知識】

- ・ 1922年（大正11年） 6月23日、当時の文部省より「設立認可の通達」
- ・ 1923年（大正12年） 4月1日、鳥取県立第二中学校 開校
- ・ 1948年（昭和23年） 4月、「鳥取二高」発足  
\* 鳥取二高 + 鳥取工業 + 鳥取実高（農業） = 鳥取二高
- ・ 1953年（昭和28年） 普通科・工業科・農業科で構成されていた「総合制の東高」はこの年分離して普通科単独校「鳥取東高」として独立。  
工業科と農業科がいっしょになって「鳥取高校」を作り、これが後に「鳥取工業」と「岩美高校」にそれぞれ独立。

母校鳥取東高の創立100周年に向けて、同窓生の皆さま方の益々のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。（同窓会事務局一同）



## 学 縁

同窓会長 常 田 享<sup>たく</sup> 詳<sup>しょう</sup> (山13)

縁は円に通ず

平和と希望の祭典「東京オリンピック」の年、令和二年が、新型コロナウイルスによって想定外の大きな影響を受けることになりましたが、会員各位にはつつがなくお過ごしでしょうか。

残念なことに昨年度は、近年の同窓会総会（八月）で議長を務めていただいた矢田克明氏と、鳥取東高の柔道部の顧問として貢献された高橋祐樹先生が急逝されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

二月二十八日の同窓会入会式、そして三月二日の卒業式も、厳しい状況の中、尾室真郷校長先生はじめ、教職員の方々のご尽力のお陰で無事に挙行され、卒業生たちは元気に巣立っていきました。彼等の未来に幸多からんことを祈ってやみません。新たに二百七十六名の若人が同窓会の会員になりました。まことに心強い限りです。

三月十七日の日本海新聞に、本年も鳥取東高の合格発表の様子の写真が大きく掲載されました。昨年と違うのは、合格発表を見る生徒達が皆マスクをしていたことです。マスクの下の生徒たちの顔は、きつと素晴らしい笑顔だったことと思います。また合格した生徒の

一人は「本当に嬉しいです。入学したら、勉強と部活を両立させたい」と語り、一緒に訪れた祖母と抱き合って喜んでいたので、実に頼もしく、ほほえましい姿です。本年も鳥取東高の「文武両道」が受け継がれていくことを確信した次第です。

同窓会入会式で卒業生に対し「縁は円に通ず」という言葉を贈りました。かつて、結婚式のスピーチでよく語ったものですが、「血縁、地縁、学縁等々、ご縁を大切にすることが円満な家庭につながっていく」といったことです。私は、同窓会長を四年間させていただく中で、学縁、すなわち鳥取東高を通じてのご縁のありがたさを喜寿の歳で再認識しました。同級生、先輩、後輩の人達には、若い時から何度も何度も助けていただきました。本当にありがとうございました。次は進取の精神に富んだ方にバトンタッチしたいと思っています。

昭和三十三年、柏葉会と山脈会の二つの同窓会が一本化し、同窓会東雲会として発足しました。その歴史と伝統を踏まえて、より大きな円となることを期待して筆を置きます。

## 『ご挨拶』

校長  
中島 靖雄

3月末、前任の尾室校長との引継ぎのため、鳥取東高の門をくぐりました。私にとっては勤務経験のない高校であり、それだけに身の引き締まるような思いもありました。春休みではありませんでしたが、ふと見ると、職員室の前に並べられた机に向かって一生懸命参考書と格闘している生徒の姿がありました。

「頑張ってるね」と声をかけると、笑顔で

「はい、こんにちは」

見知らぬ私に笑顔で挨拶をしてくれました。

「何年生？」

「2年です！」

「そう。頑張ってるね」

「はい！」

たったこれだけの会話ですが、この笑顔で、どれだけ私の心が和んだことでしょう。私は、この一瞬を一生忘れなれないと思います。この生徒は、何があっても最後は幸せになる力をもっている、直感的にそんな思いがめぐりました。

人は、人の間で成長し、人の間で磨かれる。だから「人間」というのだ。そして人の本当の幸せとは、「よき人間関係そのもの」な

のである、という話を聞いたことがあります。この学び舎で、そんな生徒が育っていることがとてもうれしく感じられた、そんな一幕でした。

さて、申し遅れましたが、東雲会会員の皆さま、本年度より本校校長として着任しました、中島靖雄と申します。

皆様には日頃より温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

人類の歴史は「感染症との戦いの歴史」ともいわれますが、まさに現在進行形で新型コロナウイルスと対峙している状況です。この原稿を書いている現在、本校の入学式や日々の教育活動も様々な制約を受ける状況にあります。しかし、今回のことに限らず、人類にはこれからも乗り越えねばならぬ苦難がたくさんあります。

本校の門をくぐった若者たちは、否応なくこの複雑化した社会の中でリーダーとして解決すべきたくさん課題を背負うこととなります。そんな中で彼らがいかに「よき人間関係」を構築し、協力して課題に対峙していくか、その土台作りを担うのが本校の使命でもあります。豊富な学校行事と熱意ある教職員をはじめとするスタッフに支えられた本校で、きつとたくさんさんの「人間」が育つてくれるものと期待しています。どうか皆様には、引き続き温かく、ときに厳しく見守っていただきますようお願いいたします。

## 我ら同期生

## 山脈13回喜寿の会

青木 敏昭 (山13)

昨、令和元年9月23日に喜寿同窓会を対翠閣で開催した。

台風17号による欠航で3名が影響を受けるなど交通に支障が出る中、それでも年をとると出足も良く、45名が参集『はようしように』と30分



も早く始まった。

司会は米澤洋子さん、物故者の黙祷に続き開会、乾杯の発声は同級生で同窓会東雲会会長の常田享祥君、『鳥取東高創立100周年』に向けての取り組みや母校の活躍について報告があった。近況報告は井嶋克夫君の司会で県外から出席の6名と県内3名が行い関東同級生会の様子が報告された。高校時代や現在の様子など歓談の輪が広がり席も入り乱れての大盛況であった。又今崎良治君作製の『千支の焼物』が各テーブルのジャンケン勝者にプレゼントされた。いつもの事ながらあつと言う間の3時間『傘寿の再会』を約し、相模原市から駆けつけた山本宏義君の納杯、応援団長坂田敏君のエル、原光太郎君指揮で校歌大合唱、閉宴となった。

傘寿後について準備会で協議し物故者の増もあるので適当な間隔でやろうとなった。

なお物故者は3年間の担任12名中10名、同級生302名中41名である。

## 山脈二十回

## 卒業五十周年記念同窓会

丸瀬 和美 (山20)

月日 令和元年十一月二日  
場所 ニューオータニ鳥取

昭和四十四年に卒業し、平成元年八月に卒業二十周年記念同窓会を行い、五年ごとに同窓会を開催してき

ました。今回は七回目となりますが、奇しくも五十周年記念同窓会を元年に開催することになりました。

鳥取東高 山脈20回卒業生 50周年同窓会



鳥取東高 山脈20回卒業生 50周年同窓会





行楽シーズンの連休初日にもかかわらず、百三十余人もの同窓生が全国各地から集まり、来賓には若木剛先生、柴山抱海先生、雨河一就先生をお迎えし、国富代表幹事の挨拶の後、若木先生の乾杯の音頭で祝宴が始まりました。

初めての参加者もあり、頭髮・体型など様変わりしましたが、半世紀前の高校生時代にタイムスリップし、大変にぎやかな同窓会となりました。校歌を斉唱し、同窓会を開会。ほとんどの同窓生が二次会に突入。大いに盛り上がり、三々五々弥生町に繰り出しました。

## 山脈二十一回同窓会

榎本 武利 (山21)

還暦同窓会で学年全体の同窓会は最後になっていたが普段鳥取で顔を合わせる仲間と「卒業して五十年になるなあ、前倒しで五十年目の山脈二十一の同窓会をしよう。」と、盆前の八月十二日に開催した。百一人の仲間と石井、神戸、本田、中林の四人の先生方に御出席いただいた。本田先生の当時と少しも変わらない若々しさに皆で驚いた。県外からも多くの参加者があり、ホテル泊の参加者もあった。物故者への黙とうで

始まり、九組の尾崎直美さん指導の東高校PTAコーラス(しののめ合唱団)による「校歌」と「パプリカ」の合唱が花を添えてくれた。祝宴の中では、東高校紹介スライドと東高クイズなどで、同時にタイムスリップ。各クラス代表による一言(感想や現況等)コーナーで盛り上がり、あつという間に中締め、弥生町に二次会へと繰り出した。太田満明君と幹事の皆さんが準備会を重ねられたことによって次の回に繋がる同窓会になった。



## 祝！還暦同窓会 (山脈28期)

代表幹事 前川 章三

令和元年8月「ホテルモナーク鳥取」で鳥取東高等学校山脈28期の同窓会を開催しました。前年度末の3月で定年退職を迎え数か月後の開催であり、長年の労をねぎらうとともに還暦という人生の大きな節目を迎えられたことを皆で喜びました。退職後を「第二の青春」と言って謳



歌している者、再任用で引き続き仕事に精を出す者、孫の世話をするのが楽しみだという者など、それぞれの近況に着しながら大盛会の同窓会となりました。恩師の皆様にも多数ご出席いただきましたが、この年になると「どっちが恩師!」というような風貌になっている同窓生もあり、参加していただいた先生方の若々しさから大きな刺激をいただきました。今後の同窓会は、回を追うごとに参加者も減っていくのでしょうが、鳥取東高の思い出を胸に、またいつか多くの友と楽しい時間を過ごすことを約束してお開きとなりました。

## 「鳥取東高校山脈五十回同窓会」

松田 浩

平成十年度鳥取東高校卒業生は、山脈で数えると五十回という節目の年に当たります。鳥取東高校を卒業して二十年が経った今、ちょうど元号が変わり令和という年がスタートしました。このようなタイミングで同窓会をとり行うことができましたのも、何かの縁を感じずにはいられません。

令和元年八月十三日にホテルニューオータニ鳥取にて百名を超える参加者を迎え、盛大に同窓会を行いました。当時の担任の先生方にも数多くご出席いただき、我々の成長した姿を少しでもお見せできたこと

を嬉しく思っております。次回の同窓会は十年後の令和十年に計画しております。その頃には我々も、社会の中で周りを引っ張っていく立場になっているかと思えます。健康には留意し、元気な姿でお会いできることを楽しみにしています。



## 鳥取東高校同窓会

## (東雲会) 役員表

[任期：平成30年8月～令和2年7月]

会長	常田 享詳 (山13)	副会長	中村 忠文 (柏21)	安住 庸雄 (柏24)	清水 昭允 (山6)	川口東洋輔 (山12)	前田八壽彦 (山14)	上杉 榮一 (山17)	谷口 節次 (山19)	井上江美子 (山22)	油谷 博文 (山24)	米村 年博 (山24)	坂本 雄司 (山26)	上山 弘子 (山28)	森田 靖彦 (山30)	中島 諒人 (山35)	谷 英憲 (山41)	木村 憲司 (山47)	林 良行 (山19)	監査	高垣 美恵 (山22)	八村 輝夫 (山7)	名誉顧問	榎本 武利 (山21)	顧問	深澤 義彦 (山22)	西垣 英彦 (山29)	顧問(校長)	中島 靖雄 (特別会員)	滝波 和宏 (山24)	上野 武彦 (特別会員)	事務局次長	村上千春 (山39)	事務局専任	
----	-------------	-----	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	------------	----	-------------	------------	------	-------------	----	-------------	-------------	--------	--------------	-------------	--------------	-------	------------	-------	--

## 成績 (一部)

優勝	安住 庸雄 (柏葉24回)	ネットスコア	70.2
準優勝	橋本 和憲 (山脈16回)	"	71.6
第3位	吉田 淳也 (山脈41回)	"	71.6
第5位	長尾 慎二 (山脈36回)	"	72.6
第10位	森本 茂 (山脈20回)	"	73.6
第15位	大坪 正雄 (山脈40回)	"	74.4
第20位	山本 和典 (山脈16回)	"	75.4
第25位	西田 源良 (山脈25回)	"	76.2
第30位	中尾 雅人 (山脈25回)	"	77.8
ブービー賞	平井 潔 (山脈25回)	"	80.6
ベストグロス賞	今西 正一 (山脈16回)	グロス	81

## 第7回 東雲会長杯 ゴルフコンペ結果報告

橋本 和憲 (山脈16)

令和元年度コンペは台風19号の接近で中止の心配がありました。大きな風もなく無事に10月14日(日)体育の日に35名の参加で開催されました。

市民体育祭、台風の影響等で若干参加者は減少したものの初参加もあり楽しく盛り上がりのあるコンペとなりました。尚、優勝は安住会長、スコアは年令を一つ下廻る87とエージシュートでの優勝で懇親会を盛り上げて頂きました。

今年度(第8回)は10月10日(土)AM8時16分スタート、場所は鳥取カントリー倶楽部古岡温泉コースを予定しています。従来通りハガキによる案内は発送する予定ですが当会報をご覧の方は参加、並びにPRを宜しくお願い致します。



## 令和元年度 会務報告

★六月、同窓会報『しののめ』第十五号を発刊しました。

★六月二十七日(木)創立九十七周年記念式典が挙行されました。

★七月六日(土)東京東雲会総会に常田享詳会長(山13)、尾室真郷校長(山29)、滝波和宏事務局長(山24)、十一月十日(日)東海東雲会総会に常田享詳会長(山13)、尾室真郷校長(山29)、滝波和宏事務局長(山24)、十一月十六日(土)京阪神東雲会総会に清水昭允副会長(山6)、川口東洋輔副会長(山12)、尾室真郷校長(山29)、滝波和宏事務局長(山24)の本部役員が参加し交流を深めました。

★八月三日(土)本部同窓会総会が開催され、京阪神東雲会会長の岡田俊一氏(山12)をご来賓にお迎えいたしました。母校鳥取東高邦楽部の皆さんの『琴の演奏』で会場が盛り上がりました。



## 同窓会報「しのめ」第15号の協力金納入の現況

同窓会員の皆様には、多大なご理解とご支援をいただきまして厚くお礼申し上げます。  
第15号の協力金納入は次のとおりです。

★会員発送数	20,317冊
★協力金入金件数	1,389件 (前年比115件減)
★実質の協力金入金	2,853,925円 (協力金一振込手数料) (前年比197,202円増)
★必要経費(会報・封筒の印刷、郵送費等)	3,300,000円

★第11号では約77万円、第12号では約50万円の赤字で、少しずつ減少傾向にありましたが、第13号で再び増加し約95万円の赤字となりました。それを受けて『コンビニ用の振込み用紙』を導入しました結果、会員の皆様のご協力により第14号で約65万円の赤字、今回の第15号で約45万円の赤字となり、徐々に赤字幅が減少しています。創立100周年を控え、会報の益々の充実のため、同窓会員の皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

## 令和2年度 同窓会(東雲会) 定期総会及び各支部総会の日程について

下記の日程で予定しておりますが、社会状況により延期・中止となる場合がございます。

### 鳥取東高等学校同窓会 東雲会総会ご案内

日 時	令和2年8月1日(土)
	役員会 14:30～
	総会 15:00～
	懇親会 16:00～18:00
会 場	ホテルモナーク鳥取 鳥取市永楽温泉町403 TEL 0857-20-0101
会 費	5,000円

### 東海東雲会総会ご案内

日 時	令和2年11月15日(日) 12時～
会 場	寿しと居酒屋「はなの舞」名古屋駅西店 名古屋駅西口徒歩1分
会 費	男 性: 5,000円 女 性: 4,000円 夫婦同伴: 8,000円 学 生: 2,000円 初めての方: 3,000円

### 東京東雲会総会ご案内

日 時	令和2年7月4日(土) 12:00開会
会 場	法曹会館 千代田区霞が関1-1-1 TEL 03-3581-2146
会 費	一般会員: 5,000円 学 生: 1,000円

### 京阪神東雲会総会ご案内

日 時	令和2年11月21日(土) (受付 12:00～)
	総会 12:30～13:00
	懇親会 13:00～15:30
会 場	大阪キャッスルホテル 6階 大阪市中央区天満橋京町1-1 TEL 06-6942-2401

covid-19の京阪神の推移を見守るために上記の会場を予約しますが8月末には幹事会を開き実施が見送りを決定し、会費納入者には広報紙と共に開催中止をお知らせします。あわせて、ホームページ <http://kshinonome.webcrow.jp/> にも掲示します。



## 出席者（鳥取東高での在職期間）

若木 剛 先生  
1965.4（昭和40）～1981.3（昭和56）

濱田 英一 先生  
1972.3（昭和47）～1992.3（平成4）

谷口 肇 先生  
1986.4（昭和61）～2001.3（平成13）

尾室 真郷 校長  
1987.4（昭和62）～1991.3（平成3）  
1998.4（平成10）～2010.3（平成22）  
2016.4（平成28）～2020.3（令和2）

創立100周年（2022年）に向けた特別企画

# 旧職員座談会

『生徒会行事編』（抜粋）



（文中敬称略）

（尾室）

本日はご出席いただき有難うございます。今日のこの座談会は本校の百周年誌に記念座談会として載せたいと思っております。先生方は特に東高の勤務が長い先生ばかりですので、当時の生徒、学校を振り返ってお話いただけると幸いです。まず若木先生からお願いします。



尾室真郷 先生

（若木）

生徒会の思い出は山ほどあります。大正12年の二中が発足した時から校友会というものが既にスタートしていて、庭球部とか野球部とか4つぐらいあったのかな。ですから、生徒会の伝統はずっとあるわけです。調べてみると昭和25年に普通科の生徒会規約が出来た。私は昭和40



若木 剛 先生

年に着任して、学級担任をしながら、生徒会部の顧問もしていました。とにかく、毎年執行部の生徒はとても熱心で、おそらく県下で一番盛んで、よく仕事をしたと自信を持って言えますね。例えば何年前になりますか、奥田信三君が生徒会長をしていた時は、彼はもう朝6時台から学校に出てきて、帰るのは一番最後に帰るんですよ。部活動が全部終わるのを見届けて。それは在任中ずっとそういう調子ですから、他の執行部員も一緒にやるんですよ。誇りを持っていて。奥田君の前の前期生徒会長の國富堅志郎君もそうでしたが、生徒会執行部というのは、勉強も自分でするし、全校生徒のため、そして学校の教員との色々な連絡や折衝なんかもする人で、部活動も全部見ている人といううなんですね。すごいエネルギーと情熱を必要とすると

ころです。だから歴代の生徒会の執行部というのは、皆、記憶にあるんです。

### (谷口)

私が入学した昭和29年当時の生徒会執行部は非常に優秀でした。当時早田先生が指導なさっていたと思います。生徒総会は水曜日の4限目のHRの時間でしたが、1年生の頃はそれが楽しみでした。執行部に対する厳しい質問と答弁。上級生同志の激論は、中学校卒業直後の私にとっては心躍る体験でした。「いつになったらあんな事が言えるようになるだろう」と思っていました。そんなある日、「シンボルを担いでの市中行進のコースをめぐる」学校側から交通事情を理由にコース短縮の提案がありました。生徒側は絶対認められないと対立。時間切れになり先生から「教室に帰れ」と指示があり、1年生は素直に立ちあがりましたが、間髪をいれず3年生の席から「立つな」と激が飛び我々は呼応して全員着席、学校側との折衝が継続。「校長を出せ」の声が飛び雰囲気の中で執行部の代表と学校側との最終折衝の結果、生徒の要求が認められた。押し引きしたりする

中で、一つの物を創る。これこそ民主主義の学校だと思った次第でした。



谷口 肇 先生

### (若木)

私がとても大事だと思ったのは、顧問をしながらですが、学校がそれを力で持つて禁止することをしなかったんです。私もさせられなかった。だから、言いたいことがあれば言って、自分らの常識で学校に注文したいことがあれば言えればいいというスタンスでいきました。だから、あるときの生徒総会は、1年生の男子の生徒が服装問題で学校批判をばんばん言って、そして、自分で議会の議員に立候補してちゃんと当選して。当選して議員になると決して破壊的なことは言わないんです。ちゃんとした手続きで、学校も認めて生徒議会の議員になっているわけで

すから、生徒として、なんら破壊的なこともなしに、ただ自分の主張はちゃんと皆の前で言うし、という雰囲気でしたよ。

### (尾室)

昨年度卒業50周年の同窓会に出席しました。東高最後の市中行進の時に生徒会長だった三谷さんが、「鳥取市の学校がすべてやらないと決めていたけれど、自分の役目は市中行進を絶対に続けることだった。校長に直談判して、最後には校長自らが責任を取るから、やってみたいと言われた。」と言っておられました。こんな風に、生徒にパワーがあったのだなと思いました。

### (谷口)

私が丁度生徒会部長をしていた時でしたが、「昭和63年爆竹事件」勃発。これは、禁止爆竹をあるクラスで大量にシンボルの中に仕込み、点火と同時に大爆発したのです。前年までにも爆竹が鳴らなかつたわけではなかったのですが、何しろ桁外れの規模と音響でした。私にとっても生徒との信頼の絆が断ち切られた思いでショックでした。一生懸命準備してきた生徒会執

行部員も執行部室で泣きました。

### (尾室)

そうですね。あの当時の生徒にとつては大きな思い出になっていると思います。先日の同窓会総会で当時の生徒の一人が「僕らはあの当時の世代です。爆竹がどのくらい鳴り続けたのかな。10分ぐらいいかなあ。何しろ何万発も入れましたから。」と言っていました。消防車は来る、近所の人は何事かと集まってくる。それでも終わらない。そこで谷口先生が、3年生全員を教室に引き取らせられたのです。

### (谷口)

そうでした。あの時は、これを收拾するには、断固として生徒と対決するしかないと思腹をくくり、強権発動で、ファイヤーストームにとりあえず3年生は参加させない事にしたのでした。

### (尾室)

それからの顛末が心に残っていますね。生徒会部は、1・2年でフォークダンスに移るようになっていたのですが、「3年生がいらないといやです」と言い張っ

て動かないのです。

### (谷口)

そこで生徒会部職員、執行部と話し合い、3年生を復帰させることにしました。

### (尾室)

1・2年生の熱意で3年生を迎えることになったのです。やっぱり生徒会がいいですね。

### (谷口)

生徒の思いを汲みあげていく部分と、駄目なものは駄目と言いつける職員集団の力が当時はありましたね。後で思ったのですが、生徒会部と生徒との押し合いへし合いの中でも、教師集団が腹に譲れない一線を持ちながら生徒の思いに耳を傾け、譲れるところまで譲ることで、民主主義の本当の在り方を体得させる懐の深さが、東高にはあったように思います。こうした経過で、職員も生徒も大事な経験をした結果が次の年に結実しました。ファイヤーストームの在り方を一緒に考え、生徒の要求をとりあげ、グラウンドにステージを設営し、バンド演奏で優勝・



準優勝したチームをステージに上げ、ファイヤーストーム終了とともに生徒がステージをとり囲む中で、ライブを楽しみ、フィナーレに校歌斉唱し、学校長の音頭で、鳥取東高万歳三唱しました。勿論のことですが、爆竹は一発も鳴る事はありませんでした。

### (若木)

シンボル行進を廃止した時期に、悩んだことがありました。東高が一番最後までやっていたんです。生徒の急増期で、学級数は増える生徒数は増える。私が着任した頃は1年生から3年生まで行進していましたね。その後3年生だけになりました。

社会の状況に合わせる必要がありました。外に出るものですから、交通の邪魔になるし、自動車が増えたりくる。残念でしたが、昭和42年に終わりました。生徒会執行部についてのもう一つの思い出に、「ホームルームのリーダー養成」があります。私の発案だったのですが、生徒会執行部の連中も協力してくれて、昭和46年に第1回目を実施しました。第1回は砂丘の青年の家に宿泊して行いました。クラスも多い時でしたから、結

構な人数になりましたね。みんなが色んなテーマで大真面目に議論をしていました。その後、生徒は砂丘を散策したり、執行部の生徒たちは自主的に清掃もしていましたね。生徒会活動は、執行部がやっているように思われるかも知れませんが、その頃は一般生徒の中に、あるいは社会の中にも、繋がりが、広がりを持ったものになっていました。そういう機運があつて、生徒会というものが、発言力、パワーを持っていたんだと思います。

### (谷口)

シンボルの事です。私が在職時、印象に残るシンボルがあります。「羽ばたくペガサス」等動くシンボルです。もう一つが



キングギドラ

精巧を極めた「キングギドラ」、もう一つは担任の小川丹先生が出張で不在。坊主頭の髪を爪楊枝を黒く染め突きさし完成したシンボルを担任に見せずに燃やしたくないと、泣いて頼みに来た生徒たちの事が忘れられませんでした。

### (若木)

私たちの頃もそうでした。シンボルを行進に持つて出るんですからね。生徒たちは色々な人に見てもらいたかったでしょうね。

### (谷口)

その後にシンボルが消えてしまいました。痛恨事でした。教育委員会から「ダイオキシンを発生する恐れがあるので自粛するように」という通達がありました。シンボルを燃やす時、紙は全て剥がし燃やさずに済ませるという工夫をしたのですが、公害防止が喧伝されていた時期であつたのか、生徒会はいち早くシンボル作りをやめるという提案をしてきました。生徒会部として生徒が自主的に提案したもの、教師が握りつぶす事に私が躊躇したのです。科学的な

根拠を示し説得するべきでした。

### (若木)

事前にご近所を生徒会の生徒が一軒一軒回つてご挨拶に行つたんです。私もついて行きました。夜暗くなつてから、お食事の時間になりますけど、年に一度のことですから言つてね。そうしたら皆快く応じてくださいましたね。

### (谷口)

シンボル作りは過程が大切なのです。あれは、設計、土台作り、紙貼り、色付け等クラス全員が力を合わせる事が出来ます。出来上がったシンボルは団結の象徴なのです。

シンボルが消えてしまつた後、それに匹敵するイベントとして知恵を絞つたのが「合唱コンクール」でした。中部の高校での成功例に学びました。

### (尾室)

そうでしたね。あれはいい企画だったと思います。最初は職員から「無理だ」という声もありましたが、今ではすっかり定着しています。生徒たちに、何

か達成感というものを味わつて欲しいと常に思っています。

### (尾室)

ありがとうございます。学校祭、生徒会活動、シンボル作りなど、色々な思いを話していたきました。話題を変えて、東高の次の世代に向けての話に移りたいと思います。「鳥取東高における不易と流行」について、ご意見を伺いたいと思います。

### (若木)

少し観点がずれるかも知れませんが、そのことを考えるにいつかは、50年後でも今の学校制度がそのまま続くということではなくて、激変する時代の中で、ちゃんと生きていく力を高校時代にどうやって付けていくかということを考えて教育しなければならぬと僕は思っています。抽象的にならざるを得ないけれども、今後求めるものの一つは、やはり深く考える力です。それとたくましさですね。今の東高の生徒たちについて言えばね。激変する社会で生きていくわけですから、深く考えること、いろいろな意味でたくましいというところ。これを生徒に求めたい。



東高として変わって欲しくない点は、自由であり明朗であるということですね。

### (尾室)

激変する社会というのは、我々がほんとうに直面している問題ですね。

### (若木)

そのことの自覚を頭の中に持つて、どんな風に世の中が変わっても、やっぱり人間として自分として生きていける力を付けてやるということが大切ですね。生徒たちが40年後、50年後、大人になり、年寄りになって、80歳、100歳まで生きるとしませうか。その時にやっぱり東高で学んで身につけたものが、生きていく力になったということになってほしいですね。深く自分で考えるということ、命を持つて生命力としてたくましく生きるというこの2点を大事にして欲しいと思います。

### (尾室)

有難うございます。非常に力強い言葉でありますし、我々は忘れてはいけないことだと思

ます。

### (若木)

それと、もう一つ校長先生が仰った教師の在り方みたいなことですが。ずっと、自分が東高に勤務して、今も思うのは、いつも生徒のそばに居る教師でありたいということです。それから、悪いこと、良いこと、どんなことでもその生徒の成長の一コマとして捉えてやる。何も

ない生徒もいるかもしれませんが。どんなことがあっても、それを否定したり、学校から追いつすというようなことをしないで、それぞれがその生徒の成長の一コマであるという風にして、育ててやって欲しいなあと

### (谷口)

同窓会に出てきて、誰が世話をしているかという、必ずしも優等生だった生徒ではないんですよ。勉強に苦しみ、いろいろ一生懸命同窓会の世話をしているんですよ。

それと、もう一つ校長先生が仰った教師の在り方みたいなことですが。ずっと、自分が東高に勤務して、今も思うのは、いつも生徒のそばに居る教師でありたいということです。それから、悪いこと、良いこと、どんなことでもその生徒の成長の一コマとして捉えてやる。何も

### (尾室)

有難うございます。非常に力強い言葉でありますし、我々は忘れてはいけないことだと思

### (谷口)

同窓会に出てきて、誰が世話をしているかという、必ずしも優等生だった生徒ではないんですよ。勉強に苦しみ、いろいろ一生懸命同窓会の世話をしているんですよ。

### (若木)

生徒が行う色々なことをすべて否定的に評価しないで、その生徒の人生の一コマであると捉える教員集団、学校であって欲しいですね。

### (谷口)

同感です。初代校長の林重浩先生は、師弟同行の思想の下、学校をみんなで作っていた。先生も生徒も同じ列に並んで苦

いつでも、先生の言われたように、生徒のそばに教師が居るということですね、そういう状態をいかにして作るかということが、大事なことだと思います。

### (尾室)

有難うございます。非常に力強い言葉でありますし、我々は忘れてはいけないことだと思

は思うし、そういう点は是非残して欲しいと思います。

### (尾室)

どんな時代が来ても、林重浩先生の自由闊達、師弟同行の思想が受け継がれている東高のこのような校風は絶対に伝えていかなければならないと思います。

### (尾室)

有難うございます。今日の座談会の結論のようなことが出たみたいで大変うれしく思います。濱田先生、最後に何かございますか。

### (濱田)

いま、若木先生が仰ったことは大事なことだと思います。とにかく私は、3つ、さっき言った、感謝の心、思いやりの心、

それから自立の心と。それから、生徒がこういうところに行きたいと思つて、そういう決めたその情熱を持てば、それを成し遂げる意欲を持たせる教員になりたいなあと。まあ、もう教員は終わったのですけど。これから教員は、生徒を思いやる心を持ち続けて欲しいと思います。

.....

(編集後記)

本座談会は、百周年誌掲載のために、鳥取東高をこよなく愛されている先生方にお集まりいただき、2時間以上に渡りお話しいただいた内容を、同窓会報「しのめ」を通じてその一部を、同窓生の皆様にお届けするものです。今回は東高教育の大きな柱である生徒会活動について掲載しました。なお、この対談は、平成30年8月7日に行われました。



濱田英一 先生



## 東京支部

## アットホームな会

## 令和元年度東京東雲会総会

幹事長

奥田真二（山脈32）

7月6日東京東雲会の令和元年度総会が開催され、山脈3回から62回までの幅広い年代の会員、鳥取から母校尾室真郷校長先生・東雲会常田享詳会長・滝波和宏事務局長、また鳥取県東京本部、鳥城会（鳥取西同窓会）からの来賓を含め約80名の出席者のもと開催されました。

まずは全員で校歌斉唱。冒頭林田英樹会長から、「新しい時代を迎え東京東雲会も若い会員の参加・運営で盛り上げ、益々楽しい会にしていきたい。」と挨拶。そして今最も多忙なCMディレクター、au三太郎シリーズ・家庭教師のトライ等で著名な浜崎慎治さん（山脈46回）が同窓会のために講演。コマーシャル映像を見ながら「CMと故郷また東高時代の思い出などを語られ、印象に残る講演をして頂きました。その後、鈴木誠名誉会長の発声で乾杯。第2部懇親会がスタート。鳥取からのお土産に頂いた竹輪と西瓜に舌鼓を打ちながら、故郷・母校に思いを馳せ談笑の輪が広がり、途中これまた母校出身のピアニスト渡邊絵理子さん（山脈59回）の演奏でピアノの調べに一同魅せられました。そして恒例の福引会へと続き、盛り上がりは最高潮に達しました。

最後に、『ふるさと』を歌い、万歳三唱で締め、名残惜しみつつ、来年の再会を誓って散会となりました。

食べて・語って・聴いて・唄って、そして楽しんで、東高らしいアットホームな会となりました。

令和2年の総会は、7月4日（土）12:00開会、於…法曹会館となります。

多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。



## 東海支部

## 令和元年度東雲会東海支部活動報告

東海東雲会会長

中川 澄（山脈17）

R1・11・1（金）

支部総会案内発送

R1・11・10（日）

東雲会東海支部総会・懇親会

会場…寿しと居酒屋

「はなの舞」名古屋駅西店

東雲会会長常田享詳氏、事務局長滝波和宏氏、鳥取東高校校長尾室真郷氏を鳥取から来賓としてお迎えして開催いたしました。今回は会員5名に加え、尾室校長の声かけにより学生3名の参加をいただき、母校の話題などで大いに盛り上がりました。

今年度も、一部会員より日曜日なら参加出来るとの意見がありましたので11月15日の日曜日の開催と致します。1名でも参加者があれば開催致します。

このごろは、COVID-19（新型コロナウイルス）の流行で見通しが立たない状況ですが秋までには落ち着くものと願いながら、皆様との再会を楽しみにしています。

以上



## 京阪神東雲会

## 第69回京阪神

## 東雲会総会・懇親会

事務局長

中原修市（山20）

開催日…令和元年11月16日（土）

場所…大阪キャッスルホテルにて京阪神東雲会（鳥取二中・鳥取東高同窓会）の総会・懇親会を開催いたしました。東雲会本部から清水副会長、川口副会長、滝波事務局長、そして尾室鳥取東高高等学校校長、林田東京東雲会会長、岸田鳥取県関西本部副部長の各ご来賓のご出席を賜りました。また鳥取地区他多数の応援会員様のご参加をいただき総勢78名での開催となりました。

令和元年度は当番幹事として京阪神在住の山脈36期の卒業生の皆様にお願ひするべき所ではありましたが、叶いませんでした。その為京阪神東雲会運営に積極的にご協力をいたしております。歴代の幹事を中心に事務局を組織し本年度の総会懇親会の準備、当日運営をさせて頂きました。

水東雲会副会長様に母校の近況及び地元東雲会の活動状況などについてご挨拶をいただきました。懇親会では、林田東京東雲会会長様の乾杯のご発声により各テーブルでは楽しい歓談の時間を過ごしました。本年度も本部東雲会、鳥取県関西本部より地元のお酒や、とうふ竹輪、柿、梨などの地元食材を頂戴し、皆で美味しくいただきました。



ました。懇親会の司会進行は山脈30回の田和様にお勤めいただき、3分間スピーチ、鳥取〇×クイズ、みんなで歌おうコーナーと盛り沢山のメニューを頑張ってくださいました。ほんとうに有難うございました。最後に全員での集合写真を撮り、お開きとなりました。令和2年度の総会懇親会も11月の第3土曜日の実施となります。会場につきましては、キャッスルホテルでの開催となると思いますので、東雲会会員の皆様には多数のご参加をお願い申し上げます。



追悼企画：

## 高橋祐樹先生を偲んで

(写真中央：令和元年度第3学年主任／山脈39回卒業生)



前校長 尾室 真郷 (山29)

卒業した三年生、柔道部員のことを我がことのように思っていた高橋祐樹先生。生徒、職員に愛されていた高橋先生。耳を澄ませば先生の声が聞こえてきます。「何をしようのだい、こんなことで負けられない。いまだで、今。夢実現の勝負は！」、「可能性は無限。時間は有限」。継続の差はもつと大きい。「挑戦した何かが絶対に報われるのであれば、誰でも挑戦する。報われないかもしれないことを覚悟しながら、同じ情熱、気力、行動力をもって挑戦しつづけていくことが尊い。そんな生徒を育てたい」。高橋先生とこれからの東高について何度となく語り合いました。いま東高はどんなふう映っていますか。先生、本当にありがとうございます。心からご冥福をお祈りします。

3年1組担任 平 木 章 子

最新のモデルの小物に、カラフルでおしゃれな服。自信と気迫、力強い言葉。優しさ、励まし、懐の深さ。高橋先生には何度救われたでしょうか。そこに先生がいる、それだけでどれほど心強かったか。この春、3年間愛情を注いだ生徒たちが卒業し、その後、合格発表では次々と喜びの声が届いています。「マジかーやっとなー」と返ってくる気がして、私も、生徒も、毎日デスクの写真に報告しています。きつとこの先もずっと、みんなが先生に語り掛け、相談するのだからと思えます。先生と過ごしたかけがえない日々を、忘れません。

3年2組担任 中 野 志 保

高橋学年主任のもとで濃厚な3年間を過ごさせていただきました。誰に対しても細やかな心づかい、生徒への厳しくも温かいまなざし、何でも来いとどしりと構えて話を聞いてくださいました。どこかへ出かける前は必ず高橋先生からおスメのラーメン屋さんを聞いて：ラーメンが好きになったのも高橋先生の影響です。高橋先生から学びたい、話を

したい、その気持ちは変わりません。先生の姿はありませんが、私たちに残してくださったことはたくさんあります。高橋先生との出会いを大切に、またこれから教員としての人生を歩んでいきたいと思っています。

3年3組担任 松 田 浩 (山50)

毎日決まって20時半にアップされる高橋先生のブログには、日々の記録ではなく、私たちに對するメッセージが込められていました。そのブログも12月17日を最後に、今はもうアップされていません。私のような若輩者のこともいつも気にかけてくださったことを一生忘れません。本当にお世話になりました。

3年4組担任 富 林 紀 之

今は天国でゆっくりしておられるでしょうか。高橋先生のことなので、どしり構えながらも、めちゃくちゃ生徒のことを気にかけようと思えます。もうご存じとは思いますが、高橋先生が育ててこられた多くの卒業生が、進路実現という「夢」を「実現」させ、高橋先生の机の上は、卒業生が持つてきたラーメンやお菓子や手紙でいっぱいです。きつとこれからも次のステージで「夢」を「実現」させるために頑張ってください。これからも見守ってください。

3年5組担任 山 口 優 介

突然の悲報を耳にしたときは、ただただ驚くばかりで、数か月たった今でも信じられない気持ちが続く、悲しみの癒えない日々を過ごしています。高橋先生には、私がまだ講師であつたとき、八頭高校で出会ったことをきっかけに、大変かわいがっていただきました。何か特別に指導していただいたことは記憶しておりませんが、生徒に厳しく、それ以上に愛情深く教育している姿を見て、たくさんこのことを学ばせていただきました。高橋先生は、私よりも10歳も年上ですが、私のような若輩者にも意見を求められたり、質問された

りし、本当に謙虚な方だったと強く印象に残っています。何歳になっても、どれだけ結果を残しても、いつも謙虚に学び続けようとする姿を、私も決して忘れてはならないと思っています。まだまだご指導を仰ぎたいことがたくさんあります。痛惜の念でいっぱい。心からご冥福をお祈りいたします。

3年6組担任 浅 田 有 希

高橋先生と初めて一緒にしたのは、私が教員になったときのまだ若い頃でした。その時にはすでに着ぐるみを入っていたらいいなと、その当時の私は思うように仕事ができず、悩みも多く抱えていたのですが、いつも気にかけていただき、困ったときには必ず助けてくださいました。あの頃の恩返しがいまだにできないうちで、高橋学年最後の1年をともに過ごさせていただきました。高橋先生、この春先生の宝物である生徒たちが巣立っていきました。それぞれの場所できっと夢実現に向けて頑張ってくれることでしょう。いつまでもその温かいまなざしで見守ってやってください。そして、私自身一言では言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱい。ありがとうございます。

3年7組担任 宮 脇 進 (山41)

高橋学年長は、中学校・鳥取東高の2年先輩でした。学生時代はとて近寄りたいた存在（色々な意味で...）でした。この3年間は高橋先生が学年長、私が副学年長という立場で楽しく過ごしました。朝は学年では一番早く高橋先生が出勤され、その次に私が出勤し、その一日のこと、さらには学年をより良くしていくためにどうするかを語り、多くの指示をいただきました。生徒のことを一番に考え、締めるときは締め、楽しむときは楽しむ、多くのアイデアをお持ちの先生でした。クリスマスにはトナカイに扮し、プレゼントを配る姿が脳裏に焼き付いています。いつまでも、いつまでも鳥取東高の生徒を見守ってください。本当にありがとうございました。



## 主な大学の合格者数

金沢大学	2	愛媛大学	3	慶応大学	1	龍谷大学	30
千葉大学	1	九州大学	2	駒沢大学	1	大阪薬科大学	4
東京学芸大学	1	京都府立大学	1	東洋大学	2	関西大学	6
京都大学	2	福知山公立大学	3	日本大学	2	関西外国語大学	6
大阪教育大学	5	大阪市立大学	1	明治大学	3	近畿大学	19
鳥取大学	55	大阪府立大学	1	早稲田大学	1	関西学院大学	5
島根大学	19	神戸市外国語大学	1	京都産業大学	17	甲南大学	1
岡山大学	13	公立鳥取環境大学	7	京都女子大学	2	神戸薬科大学	3
広島大学	3	島根県立大学	4	京都薬科大学	2	武庫川女子大学	2
山口大学	3	岡山県立大学	2	佛教大学	3	鳥取看護大学	5
香川大学	2	県立広島大学	5	立命館大学	8	広島修道大学	2

令和2年度入試は、来年度いよいよ新テスト（共通テスト）が導入されることで安全志向が強まる可能性がありました。また、前年度に比べセンター試験が難化したことなどを受け、国公立大学、私立大学ともに厳しい入試が予想されました。しかし、現役生、過卒生ともに最後まで粘り強く受験に臨み、大変良好な成績を残してくれました。特に現役生は国公立大学に140名合格し、卒業者数に対し50%を超える合格率となり過去最高と言ってよい成績でした。旧帝国大学では京都大学に2名九州大学に2名合格し、うち京都大学1名は現役生でした。看護系の専門学校や公務員警察・消防・県職・市職等）についても良く努力し、ほぼすべての生徒が目標としていたところに合格することが出来ました。

なお、過去5年間の合格者（現役・過卒の合計）の状況及び主な大学の合格者数は左の表の通りです。

	H28	H29	H30	H31	R02
国公立大	199	132	144	155	172
私立大	348	251	319	344	328
短大	20	31	25	21	15
専修学校等	83	63	85	63	43
計	650	477	573	583	558

令和2年度の  
入試の状況

## 部活動報告

【各種大会】

部 名	大会名等	出場種目(成績)等	備 考
柔 道	第66回中国高等学校柔道大会	男子団体、男子個人90kg級(第3位)	
	第20回中国高等学校柔道新人大会	男子団体	3年連続4回目
	鳥取県柔道選手権大会	男子個人無差別(第3位)	中国大会出場
陸上競技	第28回中国高等学校新人陸上競技対校選手権大会	男子個人5000m(第8位入賞)	
	男子第6回・女子第33回中国高等学校駅伝競走大会	男子・女子	
ソフトテニス	第10回中国高等学校ソフトテニス新人大会	男子団体	
テ ニ ス	第38回鳥取県高校インドア選手権	男子個人(準優勝)	
	鳥取県高等学校テニス新人戦	男子団体(優勝)	16年ぶりの優勝
	団体の部	女子団体(第3位)	
卓 球	全日本卓球選手権大会鳥取県予選(ジュニアの部)	男子シングルス(第3位)	全国大会出場
ポ ー ト	第63回中国高等学校ボート選手権大会	男子シングルスカル(優勝)	
	第31回全国高等学校選抜ボート大会	男子舵手付コドルブル(第4位)	
	中国地区予選会	女子舵手付コドルブル(第4位)	
弓 道	第27回中国高等学校弓道新人大会	男子個人	
		女子個人	
水 泳	第7回中国高等学校新人水泳競技選手権大会	男子100m平泳ぎ、女子100m・200m自由形	
ビームライフル	第4回中国高等学校ライフル射撃競技新人大会	女子エアライフル立射60発(第2位)	全国大会出場
		女子ビームピストル立射60発(第3位)	
自 転 車	鳥取県秋季自転車競技選手権大会	男子200mTT・1kmTT(第3位入賞)	全国大会出場権
フェンシング	第14回中国高等学校フェンシング新人戦	女子個人フルーレ(第6位)	
	第3回鳥取県エベ&サーブル杯	女子個人エベ(優勝)	
空 手 道	鳥取県空手道新人戦	女子個人-53kg級組手(優勝)	
邦 楽	第39回近畿高等学校総合文化祭京都大会日本音楽部門		
書 道	第21回席上揮毫大会	楷書部門(最優秀賞:県1位相当)	
	第51回県高校書道展	連盟賞	高総文祭出品
放 送	第39回近畿高等学校総合文化祭京都大会	朗読部門	
将 棋	第39回近畿高等学校総合文化祭京都大会併催部門	男子個人、女子個人	
	第18回中国地区高等学校将棋選手権大会	女子個人(第5位)	

### 【全国大会】

部名等	大会名	出場種目（成績）等
柔 道	全国高等学校総合体育大会柔道競技大会	男子団体、男子個人 81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級
	全国高等学校柔道選手権大会	男子団体、男子個人 60kg級・81kg級・無差別
ソフトテニス	全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技の部	男子個人
テ ニ ス	全国高等学校総合体育大会テニス競技大会	男子個人シングルス
ボ ー ト	全国高等学校総合体育大会ボート競技大会	少年男子シングルスカル
	第74回国民体育大会ボート競技	少年男子シングルスカル 博田凌太（優勝）
水 泳	全国高等学校総合体育大会水泳競技大会	男子200m平泳ぎ 本田航平（第6位） 男子100m平泳ぎ 本田航平（第14位）
	全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会	男子200m平泳ぎ 本田航平（第4位） 男子100m平泳ぎ 本田航平（第4位） 女子200mメドレー、女子400mメドレー
	第74回国民体育大会水泳競技大会	少年男子A200m平泳ぎ 本田航平（決勝第5位） 少年男子A100m自由形、少年女子B200mメドレー
	第57回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会	ビームライフル男子立射60発、エアライフル女子立射60発
	第74回国民体育大会ライフル射撃競技	エアライフル女子立射60発
フェンシング	全国高等学校総合体育大会フェンシング競技大会	女子個人対抗フルーレ
書 道	第13回全国高校生大作書道展	西尾かの子（大作優秀賞：全国4位相当）
	第43回全国高等学校総合文化祭書道部門	西尾かの子出品
	第54回高野山読書大会	団体奨励賞 森田真緒（金剛率寺賞：全国4位相当）
	第43回全国高等学校総合文化祭将棋部門	女子個人
将 棋	第28回全国高等学校将棋新人戦	女子個人

【県高校総体・県高総文祭】(全国大会出場を除く)

部 名	出場種目（成績）等	備 考
陸 上 競 技	男子4×100mR（第4位）、男子100m（第2位）、男子200m（第5位）、男子800m（第5位）、女子800m（第2位）、女子1500m（第5位）	中国大会出場
ソフトテニス	男子団体（準優勝）	中国大会出場
	男子個人（準優勝・第9位）	中国大会出場
	女子個人（第9位・第17位）	中国大会出場
テ ニ ス	男子団体（準優勝）	中国大会出場
	男子シングルス（優勝・ベスト8）、ダブルス（準優勝）	中国大会出場
サ ッ カ ー	男子（第3位）	
水 泳	男子総合（準優勝）、女子総合（準優勝）	中国大会出場
	男子個人 21種目、女子個人 15種目	中国大会出場
放 送 部	オーディオビジュアル部門、朗読部門	中国大会出場

“見慣れてる広い背中少し後を歩く”学生時代によく聴いた歌の1フレーズです。2019年12月18日。高橋祐樹先生が永眠されました。若い頃から本当にかわいがっていただき、初めて同僚として働く中で、先輩の広く大きな背中に追いつき追いつきたい、先輩からもっと多くのことを学びたい。と感じていた矢先のことでした。通夜にも葬儀にも本当にたくさんの方が来られました。先輩の人柄が溢れていました。

先輩の墓前に“甲子園決まりました”と報告できるような覚悟を持って選手とともに日々研鑽を重ねます。本当にありがとうございました。

編集後記

廣田 真一